

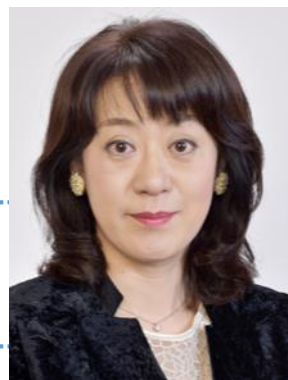


第44回 毎日こどもピアノコンクール 本選会・小学校4年生の部

審査員講評

きむら ま ゆ み

木村真由美先生（当番審査員）



例年になく猛暑の北海道、本選期間中もかなりの暑さでしたね。出場された生徒さん、サポートしていただいたご家族の方々、ご指導の先生方、本当にお疲れ様でした。
今年もたくさんの方にご参加いただき、本選会には全道各地から集まった皆さんの心のこもった熱演に、審査員一同感動して聴かせていただきました。

今回の本選会、4年生はとてもレベルの高い演奏が多く、みなさん長い期間かけてたくさんお勉強されたことが伝わりました。ただ、**課題曲**については、少し審査員から意見が出されましたので、まとめてお伝えさせていただきます。

この学年はバッハの作品とそれ以外のバロックの作品がありました。
バッハのインベンション2曲はテーマを出すことに一生懸命になってしまいがちですが、対旋律にもよく耳を傾けて聴き、テーマとの対話をしてほしいです。また全体的に音楽が右手に傾かないように、左手もバランスよく聞いて演奏すると良いでしょう。

また小プレリュードについても同様で、それぞれの調性を感じつつ、ハ長調は壮大なイメージで、またホ短調は短調なので、それに適した拍感で、右手だけの綺麗な音楽にならないように、左手の動きは深みのある音で演奏するのが良いですね。

バロック3曲のジグ、メヌエット、インパーティネンスも最初の2曲は舞曲ですので、拍感持ってそれぞれの舞曲の特徴を活かして、インパーティネンスは左右の追いかっこのように書かれていますので、レガートで右左の対話をバランスよくまとめてください。

選択曲につきましては、みなさんご自分に合った曲を選択されていたと思います。古典から近現代の曲までありますので、それぞれの時代にあった音色、曲の構成を考えたまとめ方、メロディーもよく歌って弾かれると良いですね。

コンクールですので、その日の演奏のコンディションにより賞がついてしましますが、みなさんがこの日に向けて全力で練習してきた過程が一番大切です。結果に一喜一憂せずに、これからもご自分の音楽と真摯に向き合いステージでの演奏を愉しんでくださいね！
また学年が進んだみなさんの演奏が聴けるのを楽しみにしております。